

このたびはNAGASAWA商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
商品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。

梱包内容一覧 (サムラッチ・ツーロック共に) 表を参照し、部品の有無をご確認ください。

(A) 本体 (表)	(B) 本体 (裏)	(C) 鍵座	(E) シリンダー	(F) キー-set(4本)	(G) 取替プレート	(H) フロント板	(I) CTS-60錠	(J) ラッチボルト	(K) 錠固定ねじ	(L) 丸皿小ねじ M4×35 GB色	(M) 皿コンビねじ M4×25 テンパー6号	(N) 連結パイプ M4×34	(O) 丸皿小ねじ M4×30 テンパー6号	(P) 皿小ねじ M4×16 テンパー6号	(Q) 本締錠座 set	(R) 本締サムターン座	(S) 取替プレート	(T) T-60本締錠	(U) 本締錠固定ねじ	(V) フロント板	(W) 受座	(X) トロ箱	(Y) 錠受座固定ねじ									
1	1	各1	各1	各1	2	各1	各1	2	2	2	2	1	各1	各1	各1	2	2	各1	各1	各1	各1	各1	各1	2	2	各1	各1	4				

梱包内容一覧 (ツーロックのみ) 表を参照し、部品の有無をご確認ください。

(A) 本体 (表)	(B) 本体 (裏)	(C) 鍵座	(E) シリンダー	(F) キー-set(4本)	(G) 取替プレート	(H) フロント板	(I) CTS-60錠	(J) ラッチボルト	(K) 錠固定ねじ	(L) 丸皿小ねじ M4×35 GB色	(M) 皿コンビねじ M4×25 テンパー6号	(N) 連結パイプ M4×34	(O) 丸皿小ねじ M4×30 テンパー6号	(P) 皿小ねじ M4×16 テンパー6号	(Q) 本締錠座 set	(R) 本締サムターン座	(S) 取替プレート	(T) T-60本締錠	(U) 本締錠固定ねじ	(V) フロント板	(W) 受座	(X) トロ箱	(Y) 錠受座固定ねじ										
1	1	各1	各1	各1	2	各1	各1	2	2	2	1	各1	各1	各1	2	2	各1	2	2	各1	各1	各1	各1	2	2	各1	各1	4					

### 1 切欠きの確認 (サムラッチ・ツーロック共に)

※ 6の作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください。(クサビ等で固定するとよい)

I: 現行の金物を取り外し、切欠きの確認をします。追加加工が必要な場合は、裏面『切欠図』を参考に、扉に加工します。

△ 本体下部下穴加工(Φ10mm)は、既存切欠きにより対応してください。◎直止め可能時は下穴不要です。

### 2 CTS-60錠の取付 (サムラッチ・ツーロック共に)

I: (H)CTS-60錠と(①)フロント板を扉にセットし、(J)錠固定ねじ2本で取り付けます。

※ 錠のセット時にラッチボルトの向きを確認し、開き勝手にあわせてください。

### 3 T-60本締錠の取付 (ツーロックのみ)

I: (U)T-60本締錠(文字は下向きにする)と(V)フロント板を扉にセットし、(Y)錠受座固定ねじ2本で取り付けます。

II: (W)受座と(X)トロ箱をセットし、(Y)錠受座固定ねじ2本で取り付けます。

### 4 本体・取替プレートの取付 (サムラッチ・ケースロック共に)

△ 本体下部用に扉へ穴加工を施したときは、右図△のように、(B)本体(裏)に(P)本体(下)固定ねじで(N)連結パイプを取り付けます。

I: 既存の切欠穴を隠すため、(G)取替プレートをセットしながら(A)本体(表)、(B)本体(裏)を、(K)本体固定ねじ2本で仮止めします。

(G)取替プレートがずれて取り付けづらい時は、裏面の両面テープで仮止めをしてください。(ドア材に影響が無い事を必ずお確かめください)

II: (C)鍵座に(E)シリンダーをセットし、(A)本体(表)側から、錠のカム穴にテールピース、錠のガイド穴にパイプ脚を差し込みます。

III: (B)本体(裏)側から、(D)サムターン座をセットし、(L)シリンダー引張ねじ2本で固定します。

IV: 仮止めした(K)本体固定ねじを固定し、本体下部をねじで固定します。◎時は(M)、△時は(◎)を使用します。

### 5 本締錠・取替プレートの取付 (ツーロックのみ)

I: 既存の切欠穴を隠すため、(S)取替プレートをセットしながら(Q)本締錠座 setと(R)本締サムターン座をセットし、(T)本締錠固定ねじ2本で固定します。

(S)取替プレートがずれて取り付けづらい時は、裏面の両面テープで仮止めをしてください。(ドア材に影響が無い事を必ずお確かめください)

### 6 作動確認 (サムラッチ・ケースロック共に)

I: (A)(B)本体のクイックレバーを操作して、(H)CTS-60錠のラッチボルトがスムーズに作動することを確認します。

II: (R)本締サムターン座のサムターンを操作して、(U)T-60本締錠のテッドボルトがスムーズに作動することを確認します。

III: (E)(Q)シリンダーに(F)キーを差し込みスムーズに作動することを確認します。

